

HiKOKI

取扱説明書

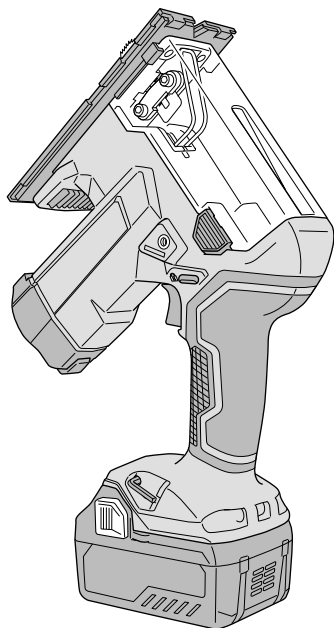
用途

- 【石こうボード用ブレードを使用した場合】
石こうボード、シーリングボードの切断、
窓抜き作業
- 【木工用ブレードを使用した場合】
普通合板、化粧合板などの切断作業
- 【市販カッターナイフ替刃を使用した場合】
シーリングボード、ゴムなどの切断作業

コードレスボードカッタ

18 V
30 mm CK 18DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8
標準付属品	9
仕様	10
別売部品	10

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け	11
六角棒スパナの収納	11
フックの使い方	12
ダストボックスについて	13
ダストキャップについて	14
ベースカバーについて	15
LEDライトの使い方	15
スイッチについて	16
電池残量表示について	17
1 充電当たりの作業量	18
連続作業について	18
ブレードの取付け・取りはずし	19
カッターナイフ替刃について	21
切断する	23

その他

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ 不意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⚠️注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスボードカッタについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ③ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ④ 誤って落としたり、衝撃が加わったり、ブレード類や機体などに破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。
- ⑤ ブレード類の取扱いには十分注意をしてください。
刃先は鋭く研磨されているので、ちょっとした不注意でも、けがの原因になります。
- ⑥ 作業しないときは、ダストキャップをベース面に取付けてください。
不意にブレード類と体が接触することを防ぎます。
- ⑦ カッターナイフ替刃は、「3枚刃」の状態に折って使用してください。
カッターナイフ替刃を折らずに長いまま、または指定の長さよりも長くして、本機に取付けると、けがの原因になります。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠️ 注意

- ① ブレード類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② ブレード類にヒビ・割れ・変形などの異常がないことを確認してから使用してください。
- ③ 使用中は、ブレード類やブレード取付部周辺に手や顔などを近づけないでください。
- ④ 運転中は、持ち運びしないでください。
- ⑤ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑥ 作業台の端や不安定な台などに置かないでください。
落としたとき、けがや機体破損の原因になります。
- ⑦ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、ブレードの面振れがないことを確認してください。
ブレードの変形や取付け不良は、けがの原因になります。
- ⑧ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑨ LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。
- ⑩ 蓄電池は確実に取付けてください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ.....

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

⚠️ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

各部の名称

工具本体

ダストキャップ
(作業しないとき
ベース面に取付け)

ベースカバー

ロッド

ブレードホルダ

ダストボックス

ベース

LEDライト

ダストキャップ
(作業するとき
ベース側面に収納)

ブレード

スイッチ

スイッチ
ロックボタン

銘板

六角棒スパナ

ハンドル

蓄電池

蓄電池

電池残量
表示ランプ

電池残量
表示スイッチ

通風穴

端子部




通風穴

ラッチ

銘板(裏側)

標準付属品

品名・形名	仕様	XP	NN
蓄電池 BSL 36A18		1 個 (本体装着)	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
石こうボード用ブレード		1 枚	1 枚
ベースカバー		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)
フック		1 個	1 個
六角棒スパナ (3 mm)		1 個 (収納部装着)	1 個 (収納部装着)
ダストボックス		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)
ダストキャップ		1 個 (収納部装着)	1 個 (収納部装着)
システムケース (No.3)		1 個	—
電池カバー		1 個	—

仕様

1. 工具体

形名	CK 18DA
最大切断能力	石こうボード：30 mm、普通合板：15 mm
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	0 ~ 6,500min ⁻¹ {回/分}
モーター	直流モーター
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池、 リチウムイオン電池 18V (BSL18xx シリーズ)
質量	1.9kg (BSL 36A18 装着時)
LED ライト	白色LED

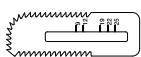
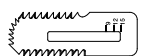
2. 蓄電池

形名	BSL 36A18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36V / 18V (工具体により自動切替)
容量	2.5 Ah / 5.0 Ah (工具体により自動切替)
冷却	対応
使用可能 コードレス製品	18V 品：使用可 36V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ
残量表示ランプ	緑色LED

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳細は、弊社総合カタログ、またはホームページをご覧ください。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

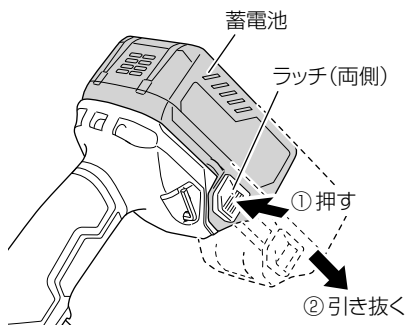
注 カッターナイフは市販品をご使用ください。
(P.21「カッターナイフ替刃について」参照)

種類	形状	最大切断厚さ	切断材料
石こうボード用ブレード (2枚入り)		30 mm	● 石こうボード
木工用ブレード (2枚入り)		15 mm	● 普通合板

蓄電池の取りはずし・取付け

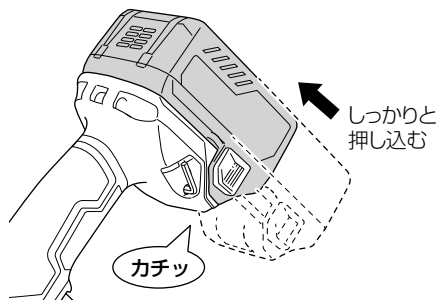
取りはずすとき

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



取付けるとき

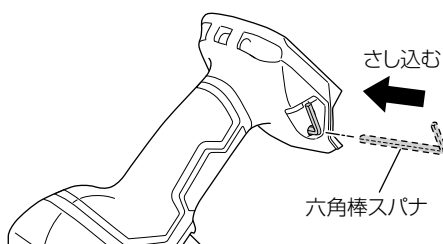
蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



六角棒スパナの収納

工具本体に六角棒スパナを収納することができます。

右図のように収納してください。





フックの使い方

作業中に機体を一時的に置くと、フックを利用されると便利です。

警告

- このフックは人体へのつり下げ用ではありません。
- 高所では、フックを使用しないでください。
- フックを利用する際は、不意にブレード類と体が接触することを防ぐため、ダストキャップを取付けてください。(P.14「ダストキャップについて」参照)
- フックを使用するとき、機体が風や振動などで滑り落ちないことを確認してください。

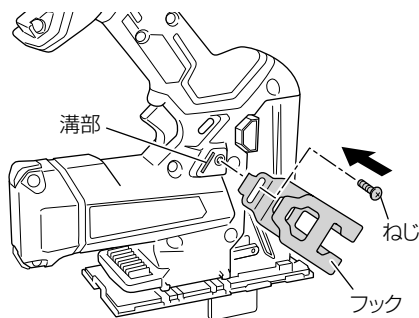
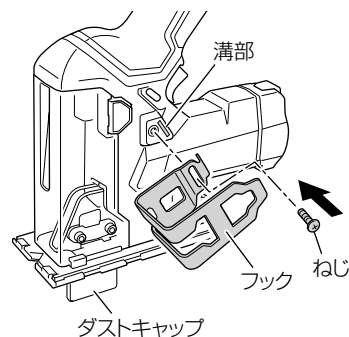
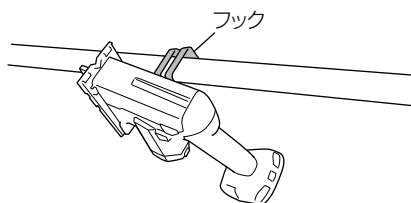
プラスドライバーを使用して、ねじで取付けます。

フックは、左右どちらにも取付けることができます。

取りはずすときは、逆の手順で行ってください。

注意

フックを取付ける際は、ねじをしっかりと締付けてください。

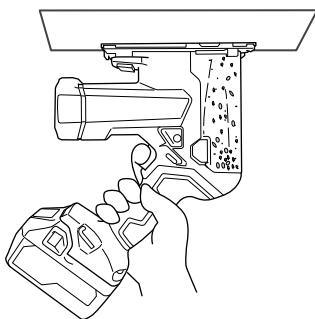




ダストボックスについて

ダストボックスは上向き作業時、落ちてくる切りくずを受けます。

ダストボックス内に切りくずがたまると、刃先位置が確認しにくくなったり、LEDライトが暗くなったりしますので、時々取りはずして掃除をしてください。



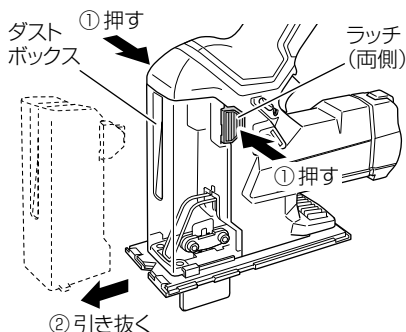
⚠️ 注意

- ダストボックスの取りはずし・取付けの際は、ダストキャップをベース面に取付けてください。
(P.14「ダストキャップについて」参照)
- ダストボックスを取付ける際、ダストボックスやベースのレール部に付着している切りくずを掃除して、確実に取付けてください。
ダストボックスの取付けが確実でないと、けがの原因になります。

取りはずし

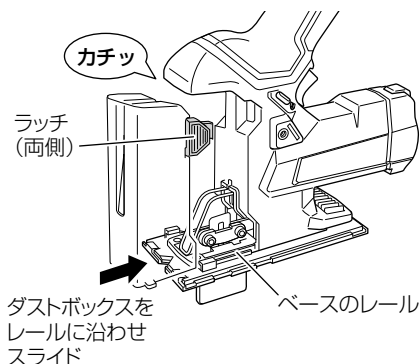
ダストボックスのラッチ(2か所)を押しながらか、機体前方に引いてはずします。

ダストボックス内に切りくずが入っているときは、ダストボックスの開口部を上向きにして、切りくずが落ちないようにしながら取りはずしてください。



取付け

ダストボックスをベースのレール部に沿ってスライドさせ、ラッチが「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。





ダストキャップについて

ダストキャップは作業の合間や保管時に、ブレード類の保護とダストボックス内の切りくずをきれいに保つ役割をします。

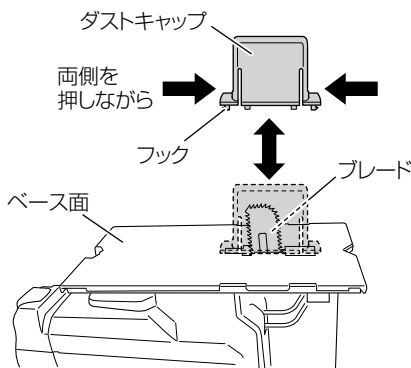
また、不意にブレード類と体が接触することを防ぎます。

作業しないときは、ダストキャップをベース面に取付けてください。

取付け・取りはずし

ベース面の溝にダストキャップのフックをはめ込み取付けます。

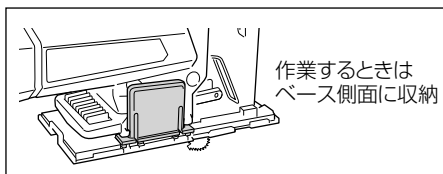
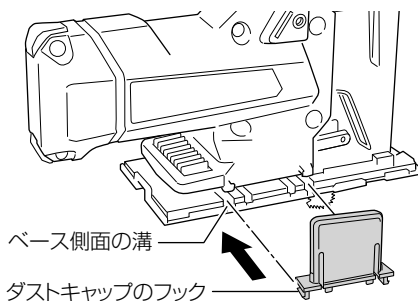
取りはずしは、フックの上を軽く押しながらいります。



収納の仕方

ベース側面の溝にダストキャップのフックをはめ込み取付けます。

取りはずしは、フックの上を軽く押しながらいります。



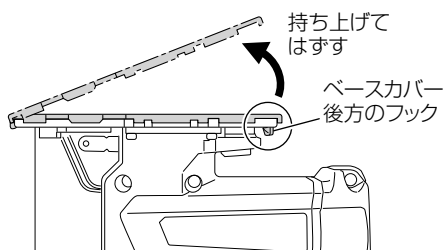


ベースカバーについて

ベースカバーが汚れると、材料に汚れや傷を付ける恐れがあります。定期的にベースカバーを取りはずして、ベース面の清掃とベースとの間に付着した切りくずを取り除いてください。

取りはずし

ベースカバー後方にあるフック部を持ち上げてベースカバーをはずします。

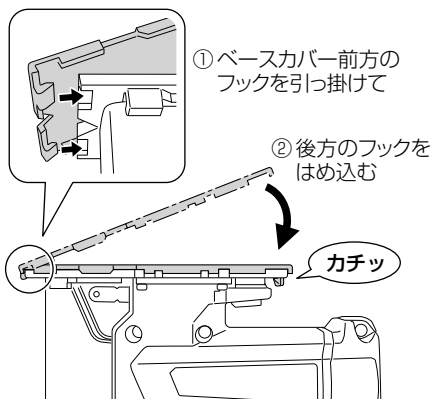


⚠ 注意

ベースカバーの取付け・取りはずしは、蓄電池とブレード類をはずして行ってください。

取付け

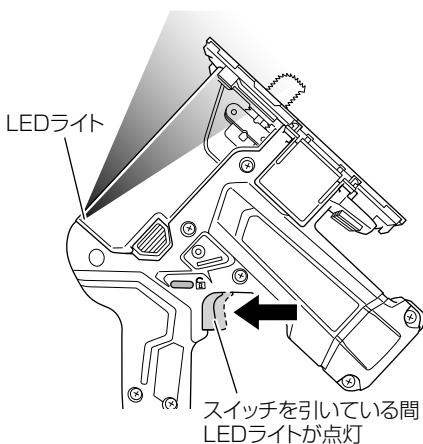
ベースカバー前方を引っ掛けてからはめ込みます。



LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、LED ライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなすと、LED ライトは消灯します。

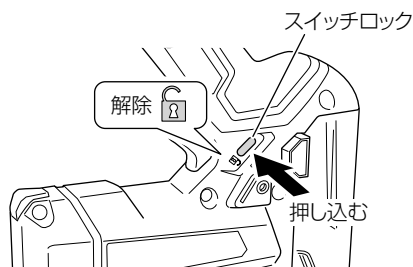
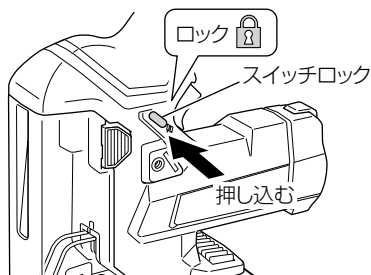


スイッチについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、スイッチロックが付いています。

スイッチロックは、しっかりと押し込んでください。

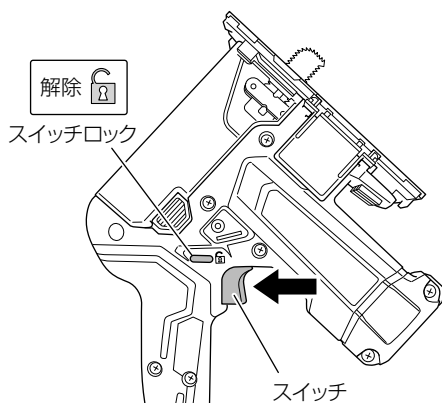
作業の合間や使用しないときは、スイッチロックをロック状態にしてください。



スイッチロックを「解除」側にした状態で、スイッチを引くとモーターが起動し、はなすと停止します。

スイッチの引き込み量で、無段階にストローク数が変わります。

スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

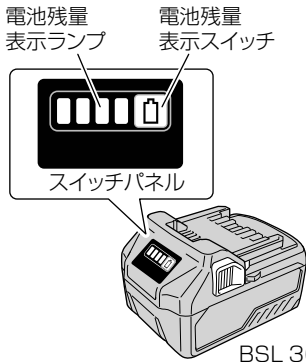


電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 残量表示機能のある製品を使用した場合、製品側と蓄電池側の残量表示が異なる場合があります。

警告

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

1 充電当たりの作業量

作業量は、使用環境、蓄電池の状態、材料のばらつきなどにより異なりますので目安としてください。

石こう用ブレードで切断 (蓄電池 BSL 36A18 使用時)

材料	切断長さ
12.5 mm 石こうボード	約 320 m

連続作業について

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は機体を十分に冷ましてください。

温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。



ブレードの取付け・取りはずし

⚠注意

- ブレードや取付部周辺に付着している切りくずをふき取り、確実に取付けてください。
- 使用直後のブレードおよび取付部周辺は、高温になっているので、触れないでください。

取 付 け

1 ダストボックスを取りはずします。

2 付属の六角棒スパナで、ブレードホルダを固定しているボルト(2本)をゆるめます。

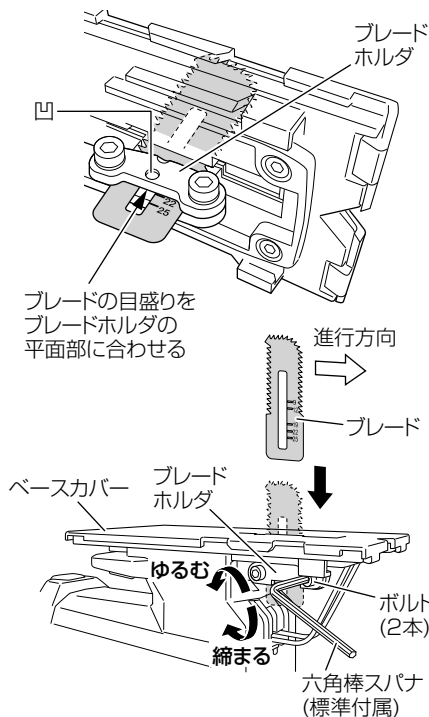
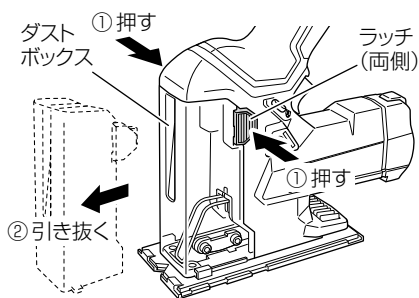
注 ブレードの目盛りは、ベースカバーを取付けた場合の切込み深さです。作業時はベースカバーを装着してください。

ベースカバーをはずして使用すると、ベースカバーの厚み分深く切断しますので、下地材やブレードを傷める恐れがあります。

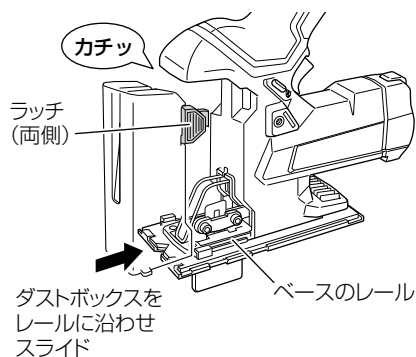
3 ブレード、およびブレードホルダの向きは、右図のような向きで機体に装着してください。

ブレードの目盛りは切込む深さです。切込みたい寸法に合わせてブレードの取付け位置を調節してください。

4 位置が決まったら、ブレードホルダのボルトを締めてブレードを固定します。



- 5** ダストボックスをベースのレール部に沿ってスライドさせ、ラッチが「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込み、ダストボックスを機体に取り付けます。



取りはずし

ダストボックスをはずし、ボルトをゆるめて、ブレードを取りはずします。

注 ブレードを取りはずしたまま保管する際は、ボルトを締め、ブレードホルダを工具本体に固定してください。

ボルト、ブレードホルダの紛失を防ぎます。

カッターナイフ替刃について

本製品は別売部品のブレードだけでなく、市販のカッターナイフ替刃も使用できます。

カッターナイフ替刃の準備

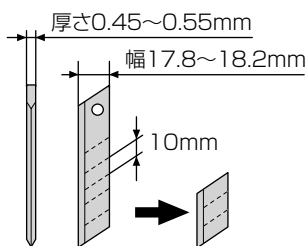
市販のカッターナイフ替刃は、右図の寸法の物を準備してください。

カッターナイフ替刃の端から数えて3本目毎の折線を折り、3枚刃の状態を切刃として使います。

なお、市販のカッターナイフ替刃で右図の寸法の物としては、オルファ社製「替刃(大)」があります。

警告

市販のカッターナイフ替刃は、「3枚刃」の状態に折って使用してください。

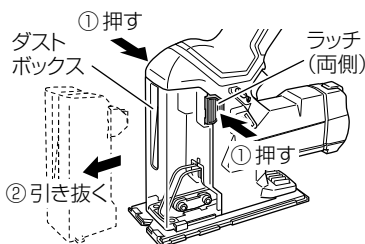


注意

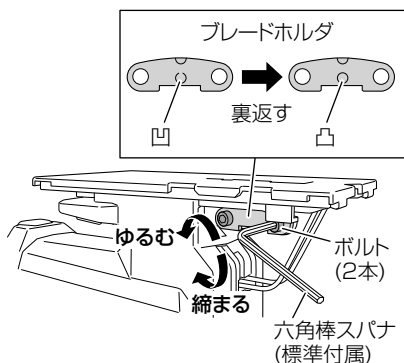
- 使用直後のカッターナイフ替刃および取付部周辺は、高温になっているので、触れないでください。
- カッターナイフ替刃や取付部周辺に付着している切りくずをふき取り、確実に取付けてください。

取付け

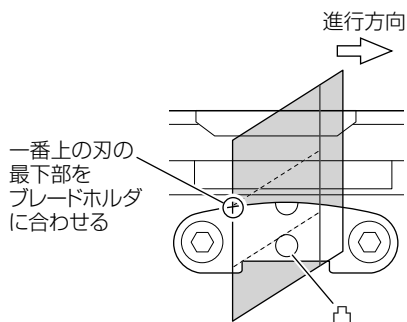
- 1 ダストボックスを取りはずします。



- 2 ボルト(2本)をゆるめて、ブレードホルダを取りはずし、裏返して凸部が上面になるように取付けます。ボルトはカッターナイフ替刃を付けやすくするため、仮締めしておきます。

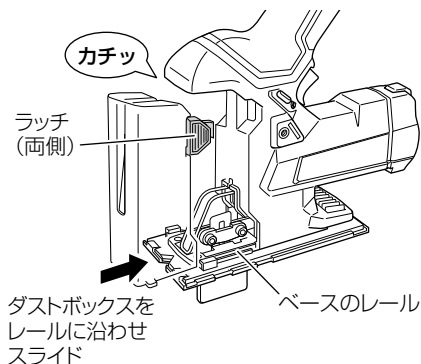


- 3** カッターナイフ替刃、およびブレードホルダの向きは右図のような向きで機体に装着してください。



- 4** 位置が決まったら、ブレードホルダのボルトを締めてブレードを固定します。

- 5** ダストボックスをベースのレール部に沿ってスライドさせ、ラッチが「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込み、ダストボックスを機体に取付けます。



取りはずし

ダストボックスをはずし、ボルトをゆるめて、カッターナイフを取りはずします。

- 注** カッターナイフを取りはずしたまま保管する際は、ボルトを締め、ブレードホルダを工具本体に固定してください。

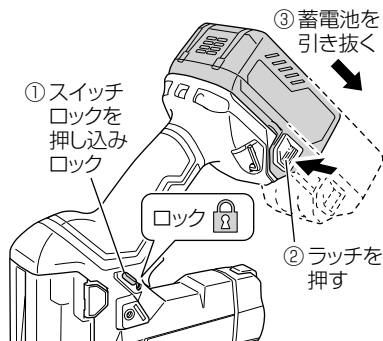
ボルト、ブレードホルダの紛失を防ぎます。

切断する

石こうボード用ブレード、木工用ブレード、カッターナイフ
替刃で各種材料を切断する

1 蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、スイッチロックを
ロック側(右側)に押し込み、蓄電池を
工具体体から抜いてください。
(P.16「スイッチについて」参照)

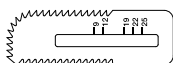


2 墨線を引く

必要に応じて、材料を切断する場所に
墨線を引きます。

3 ブレードを取付ける

用途に応じたブレードを取付けます。
(P.19「ブレードの取付け・取りはずし」、
P.21「カッターナイフ替刃について」
参照)

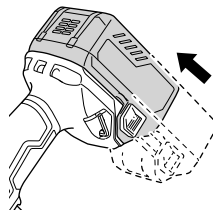


4 ダストボックス、ベースカバーの 確認

ダストボックスやベースカバーがしっか
り取付いているか確認してください。

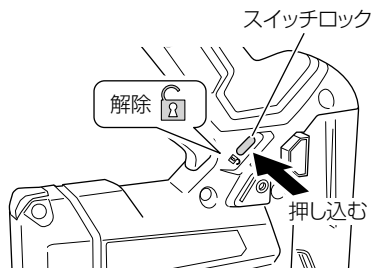
5 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするま
で、しっかりと押し込んでください。
(P.11「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



6 スイッチロックを解除する

スイッチロックを解除側(右側)に押し
込み、スイッチロックを解除します。
(P.16「スイッチについて」参照)

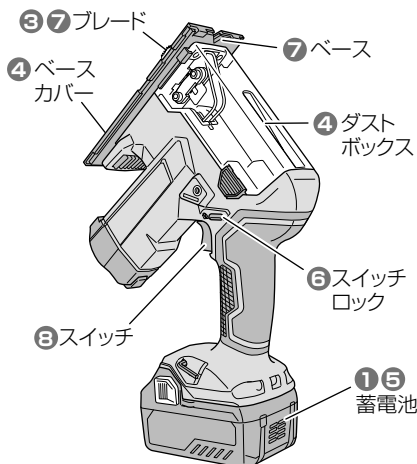
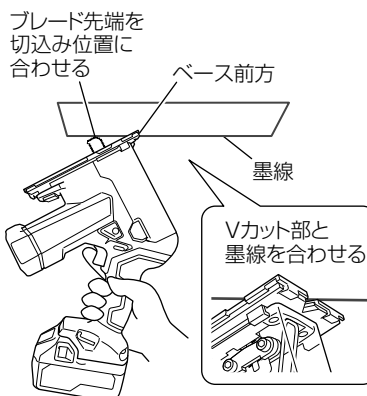


警告

- 天井開口作業のときは、しっかりした足場を確保し、切りくずの落下を想定した体勢をとってください。
- スイッチ操作時は、ブレード類およびブレード取付部周辺に指を近づけないでください。

7 切込み位置を合わせる

ブレードの先端を切込み位置に合わせ、機体を前方に倒し、ベース前方のVカット部に墨線を合わせます。



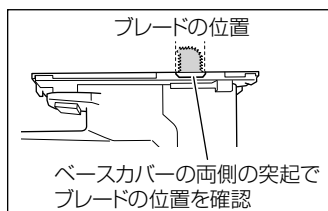
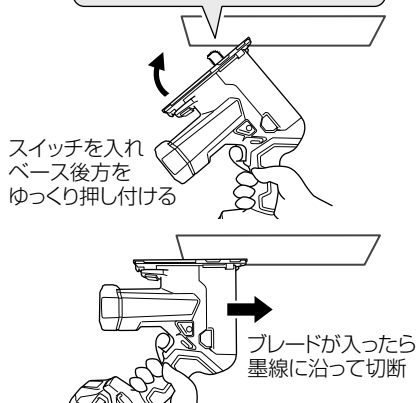
注 ブレード類が折れる原因になりますので、下記の事項に注意して切断してください。

- 切断中に本機をこじらない。
- 本機を無理に速く送らない。
- あまり小さな曲線に切断しない。
- 急激に切込んで窓を抜かない。
- ベースを材料から浮かせたり、材料を作業台から大きく突き出して切断したりしない。
- 天井裏の軽天や、配線等の位置を確認する。
- 材料に釘などの異物がないことを確認する。

8 スイッチを入れる

7の体制から、少しずつブレードを材料に切込みます。ブレードがすべて材料に入りベースが密着したら、そのまま墨線に沿って切断します。

スイッチを入れるとき必ずブレードを材料からはなして!



保守・点検

⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具体体から取りはずしてください。
- エアガンなどを用いて掃除する際は、保護メガネと防じんマスクを使用してください。

● ブレード類の点検

ブレードやカッターナイフ替刃の切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちます。

早めに新品と交換してください。

● モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 端子部の点検

工具体体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。

作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● ブレード取付部周辺の掃除

切りくずを付着したままにすると、故障の原因になります。

エアガンや、やわらかいブラシなどで取り除いてください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が降る場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

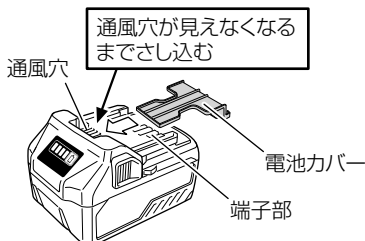


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは


修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>